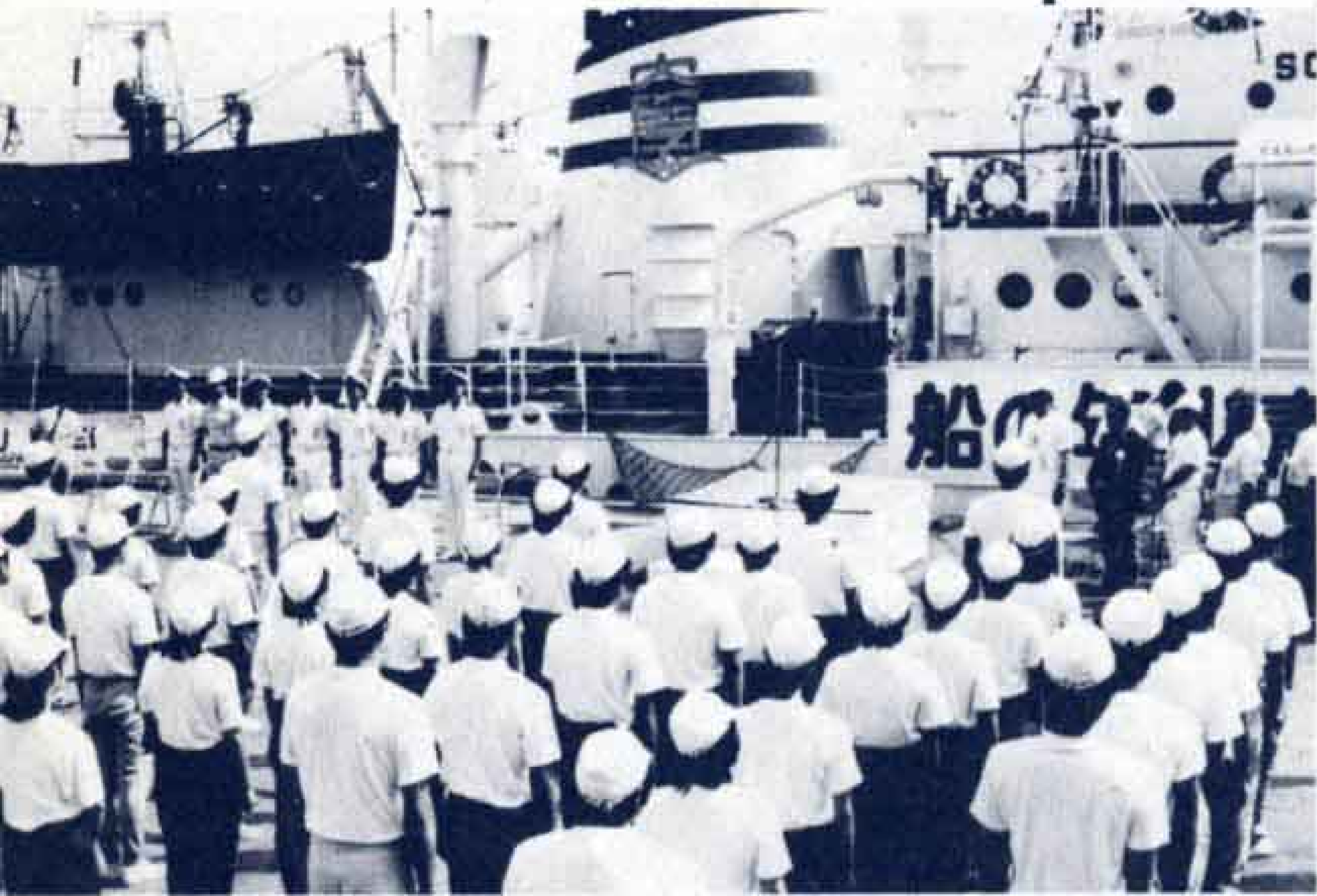


夢と冒険の船を載せて

「第1回富士市青少年の船」は、2泊3日の洋上研修を終え7月24日無事に田子の浦港へ帰港しました。研修生たちは、初めての船上生活を不安に思っていたが、観測実習、魚釣り大会、三宅島での火山活動の見学、体験発表などの研修を通して、不安も一掃されました。トビウオの飛ぶところを初めて見た人、船に酔った人、いろいろな体験をしました。しかし、なによりも船の上での友情が一番の宝物です。きっと今までにはない目の輝きが生まれたのではないかと思います。

▽出港式



△採水器による水温の測定



△ブリッジでレーダーの説明を受ける真剣な研修生



今回の洋上研修を生かし、仲間づくりと海洋に対する知識や関心を高め、夢とロマンをもった21世紀に生きるにふさわしいリーダーとなるよう期待しています。地域や学校に帰っても、いつまでも、この友情を大切にしてください。

富士市のみなさん、ようこそ三宅島へ。昨年10月の噴火のおりは、励ましの手紙や救援物資をどうもありがとうございました。私の家も溶岩の下になってしまいましたが、この島も、力強く復興されています。来年もまた来てください。



阿古中学校長
窪寺 昇さん

学長
渡辺市長



望星丸二世



△三宅島の噴火跡を見学。自然の偉大さ、恐ろしさを学びました



柳まゆみさん
(21歳)



尾形秀一さん
(21歳)

▽あこがれてたんですヨ。甲板の清掃



△やったね！見よこのタチを(魚つり大会)



▽11時消灯、朝5時15分起床、夜はぐっすり



1、富士山のように美しく自然を愛しきれいな環境をつくります